

国分寺市教育委員会（所在地：東京都国分寺市）

事業名

知りたい・学びたいから始まる くぬぎカレッジ ～地域の人々と考え、発信していくために～

主な連携先

国分寺市教育委員会教育部公民館課 恋ヶ窪公民館

主な対象

愛の手帳2度～4度の18歳以上の方
市内に在住・在勤・在学している方

事業の趣旨・目的

- ・ 障害の有無にかかわらず市民が地域で支え合う持続可能な学びの仕組みづくり
- ・ 住民同士の顔の見える関係づくりと相互理解
- ・ 障害当事者による障害理解のための情報発信
- ・ 社会教育と福祉の連携を通じた交流の創出と地域活性化

事業実施体制

【実施体制】

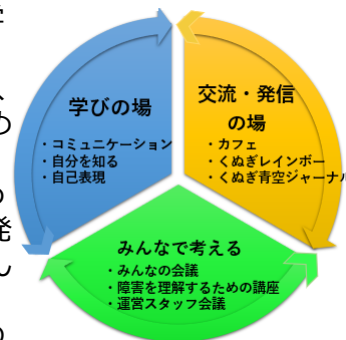
教育委員会教育部公民館課
本多公民館・恋ヶ窪公民館・並木公民館
くぬぎカレッジスタッフ・外部講師 ほか

【連携協議会】

東京学芸大学・都立武蔵台学園
国分寺市文化連絡協議会
国分寺市障害者団体連絡協議会 ほか

学習プログラムの内容

- ・ 昨年度からの継続的な内容として表現活動と学習・造形活動を柱として実施した。
- ・ 表現活動ではオリジナルダンスパフォーマンスを公民館祭及び成果報告会の場で披露するためにプログラムに盛り込んだ。
- ・ 学習活動では障害について理解してもらうために、まずは自分自身を知り、自分たちの声で発信できる力また様々な意見を整理する力（みんなの会議）を身につける講座を実施した。
- ・ 造形活動では昨年度からの継続で移動式屋台のバージョンアップを行った。



研究の成果と課題

○成果

- ・ レクリエーションとは異なる「学び」からの楽しさの発見
- ・ 運営スタッフをはじめとした市民と障害当事者とのつながりが生まれ、相互理解が深まった
- ・ 運営スタッフは参加者の支援者という立場を超え、自らも「学びの主体者」となり、障害当事者と共に学び合うことができた
- ・ 識見者や関係団体及び市障害担当部署などで組織した連携協議会による横断的な情報共有と助言がなされた。

○課題

- ・ 個人の障害特性に合わせた適切な学びの場の提供
- ・ 本事業終了後、今回の成果を既存の事業にどのように反映させていくか
- ・ 本事業で、時間が足りず深めきれなかった学びをどのように継続するか
- ・ 新型コロナウイルス対応で見えてきた、活動の在り方について



ダンスパフォーマンスの発表



自分の“トリセツ”作り



みんなの会議での進行の様子

その他研究の詳細など



活動の詳細は国分寺市HPへ

<https://www.city.kokubunji.tokyo.jp/kurashi/1012309/kouminkan/1025298.html>